

まちづくりオープンハウスについて

まちづくりオープンハウス・地域別意見交換会について

開催内容

1. まちづくりオープンハウス

説明パネル等の展示とあわせ、来場した方に市の職員がまちづくりの取り組み状況などについて情報提供や説明をしながら、これからのまちづくりについて意見交換を行います。

2. 意見交換会

市の職員が都市計画マスタープランの素案について説明した後、オープンハウスでよせられた「地域づくりの方針図」へのご意見などを参考にどのようなめざす地域づくりについて意見交換を行います。

開催日時・会場

開催日	対象地域	会場	オープンハウス	意見交換会
9月6日(月)	黄檗地域	東宇治地域福祉センター	14:00～18:00	19:00～20:30
9月7日(火)	槇島地域	槇島コミュニティセンター	11:00～18:00	19:00～20:30
9月8日(水)	志津川	志津川集会所	13:30～15:30	15:30～17:00
9月14日(火)	宇治地域	ゆめりあうじ	11:00～18:00	19:00～20:30
9月15日(水)	白川	白川集会所	13:30～15:30	15:30～17:00
9月16日(木)	大久保地域	南宇治コミュニティセンター	11:00～18:00	19:00～20:30
9月18日(土)	市内全域	生涯学習センター	11:00～18:00	19:00～20:30
9月22日(水)	六地藏地域	六地藏公会堂	11:00～18:00	19:00～20:30
9月28日(火)	山間地域	アクトパル宇治	11:00～15:30	15:30～17:00
9月30日(木)	小倉地域	西小倉コミュニティセンター	11:00～18:00	19:00～20:30

市内全10会場で開催

オープンハウスの内容・・・詳細は別紙資料

パネル展示コーナー

【全会場共通】

- (1) 都市計画マスタープランの役割
- (2) 全体構想（これからの視点～基本目標）
- (3) 将来都市構造図
- (4) 全体構想（部門別方針）
- (5) 宇治市の街角写真〔特別展示〕

【地域別】

- (6) 地域の生活圏のイメージ・・・シールアンケート
- (7) まちづくりの成果
- (8) 住民による宇治市の魅力の評価と地域の課題
- (9) 地域づくりの基本方針
- (10) 地域づくりの基本方針図・・・付箋アンケート

映像コーナー

- (1) 全体構想について
- (2) 地域別構想について
- (3) 宇治市の街角写真

アンケート

お住まいの地域（大字）

興味を持った内容

意見交換会の内容

宇治市の職員から都市計画マスタープランについて説明

オープンハウスのシールアンケート、付箋アンケートの結果を基に

これからの地域づくりについて意見交換

宇治市都市計画マスタープランの役割

実現すべき都市の将来像を明確にする

市民の合意に基づく都市計画を進めるため、様々な地域特性を踏まえ市民の意見をいかしながら、将来のまちの姿や都市づくりの方針を「実現すべき都市の将来像」として明確にします。

都市計画の決定・変更の指針となる

マスタープランは、今後展開していく様々な都市計画の基礎となります。したがって、土地利用や道路、上下水道、公園などの都市施設に関する都市計画が決定・変更されるとき指針となります。

都市づくりを進めるための指針となる

マスタープランで示す将来像に基づき、土地利用や都市施設などに係る各種都市計画の整合性を図るための指針となります。

市民と行政の協働を積極的に推進する

市民と行政の協働を積極的に推進するため、可能な限り情報を提供するとともに、市民のまちづくり活動を支援します。

マスタープランは、概ね20年後の宇治市を展望するため、目標年次を、2042（令和24）年としています。まちの将来像について一緒に考えていきましょう。



都市づくりの基本目標

これからの視点

- ・成長型社会から成熟型社会へ、拡大から質の向上を目指す
- ・変化に適應できる都市計画プロセス
- ・パートナーシップ（市・市民・事業者）による都市づくり

都市づくりの基本目標

都市づくりの基本理念に照らしながら、これからの都市計画の視点をもとに、本市の現況や動向、時代の潮流を見据え、今後の都市づくりを進めます。その基本目標として次の4つを定めます。

宇治らしさを活かした選ばれる都市づくり



豊かな自然環境や歴史的資産など宇治らしさを活かしたまちづくりを進め、住みたい、住みたくなるまちを目指す。また、まちのにぎわいや人の交流の促進など、人口減少社会に対応した魅力あるまちにつながる都市づくりを進めます。

- ① 快適に暮らせる市街地を形成し、豊かな自然を保全し、身近なみどりを守ります
- ② 歴史・文化が調和した良好なまちの景観づくりに努めます
- ③ 文化・歴史や茶業など、資源を活用した個性ある都市づくりをめざします

多様な住まい方・働き方を支える都市づくり



住環境や都市施設をはじめとするすべての都市づくりに、ユニバーサルデザインの考えを取り入れ、市民一人ひとりが快適に住み、働くことができる都市づくりを進めます。

- ① 生活利便性の維持向上による質の高い都市づくりをめざします
- ② 地球環境の持続性に配慮した都市づくりをめざします
- ③ 人にやさしく快適な住環境・都市施設を整備します
- ④ 産業の育成による個性ある都市づくりをめざします

総合的に災害リスクに対応できる都市づくり



災害リスクの情報を共有したうえで防災・減災対策を実施し、多様な災害リスクと共存しながら安全・安心して住み続けられる都市づくりをめざします。

- ① 安全・安心して住み続けられる都市づくりをめざします
- ② リスク対応型の都市づくりをめざします

地域と地域が相互に連携し支え合う都市づくり



都市機能の充実した地域から自然が豊かな地域までそれぞれの個性を活かした上で、相互に補完し合いながら、今あるネットワークや資源を有効に共有し、文化・歴史・風土などの地域特性を踏まえた都市づくりをめざします。

- ① 各地域が連携・補完し、まちの資源を共有できる都市づくりをめざします
- ② 人にやさしく、環境にやさしい交通体系を実現します
- ③ 歩くことが楽しくなる都市づくりをめざします



将来都市構造図

将来的な都市の骨格

- ①環境負荷の小さい鉄道網を強化します。
- ②バランスのとれた道路の幹線網を確立します。
- ③宇治に住む誇りと愛着を育む都市景観を形成し、世界遺産および宇治橋周辺をまちのシンボルとして、悠久の歴史を語り継ぎます。
- ④水とみどりのネットワークを形成します。
- ⑤都市防災の充実を図ります。
- ⑥活力ある都市を目指す新たな取組を行います。



全体構想(部門別方針①)

土地利用の基本的方針

【めりはりのある土地利用をめざします】



- 快適に暮らせる市街地を形成し、豊かな自然を保全し、身近なみどりを守ることを土地利用の基本とします。
- 商業・工業など産業系の土地利用には、社会経済状況の動向を踏まえ、拠点周辺や既存の商業・業務施設などの資源を有効に活用しながら地域経済に寄与する土地利用の誘導に努めます。

【交通結節機能や都市基盤の役割に応じた市街地の形成を進めます】



- 交通ネットワーク等を通じて地域と地域が連携・補完し、それぞれのまちの資源を共有することで市民が享受できる都市的サービスの質を確保・向上させていくことを基本とし、市街地の形成をめざします。

【豊かな自然環境と調和のとれた土地利用を進めます】



- 市街地に隣接する丘陵のみどりなどの自然的環境については、風致地区^{※7}や近郊緑地保全区域^{※8}などの制度の適用や条例などを活用して、その保全に努めます。

交通の基本的方針

【だれもが快適に移動でき、利便性の高い交通体系の実現をめざします】



- 交差点や踏切など交通渋滞箇所の緩和や市街地内の交通機能強化や道路のネットワーク整備などを進めるとともに、利便性の高い交通施設の実現をめざします。

【すべての人にやさしい歩くことが楽しくなる環境整備を進めます】



- 生活にうるおいを与え、高齢者や障害者をはじめとするすべての人が利用しやすい公共交通機関のバリアフリー^{※9}化を進めるとともに、歩行者・自転車の安全性、快適性の向上をめざします。

【まちの拠点や産業活動を側面から支える交通網を充実させます】



- 地域の特色を活かし、都市機能の集積・役割分担を行いつつ、周辺地域と相互に補完・連携する、まちの拠点を配置します。

公園・緑地の基本的方針

【みどり豊かな自然的環境を保全し、次世代へと継承していきます】



- 東部山地の辺縁部と山並みおよび府立宇治公園周辺の照葉樹林を保全するなど、みどりの保全を図ります。

【歴史と融合したみどりの景観づくりを行います】



- 世界遺産である平等院、宇治上神社及び府立宇治公園周辺のみどりの保全を図ります。また、“お茶と宇治のまち歴史公園”を、新たなみどりと交流の拠点とし、歴史と融合したみどりの景観づくりを行います。

【防災やレクリエーション面から、水とみどりのネットワークをつくります】



- 水とみどりをネットワークすることで、防災面では、避難路の設置により避難地への誘導を図るとともに、緩衝緑地としての整備をめざします。

【人の交流を広げるふれあいの場をつくります】



- みどりを育む人材を育成し、みどりに親しむ活動の促進を通じ、花とみどりのまちづくりを進めていきます。

都市環境の基本的方針

【身近にある自然が感じられる都市環境をめざします】



- 豊かな自然的環境とふれあう場をつくることで、その恩恵を感じる機会を創出し、市民の暮らしを豊かにする都市環境をめざします。

【歴史・文化を誇れる都市環境をめざします】



- 歴史的景観の保全や地域の伝統行事を通じて、市民意識の向上をめざします。

全体構想(部門別方針②)

【資源・エネルギーを有効に活用できる都市環境をめざします】



- 低炭素社会の実現に向け、太陽光発電やゴミ発電システムの活用、その他の新エネルギーの採用を検討するとともに、市民にエネルギー節減のための情報を提供します。

【快適な市民生活を生み出すための処理施設の整備を進めます】



- 資源循環型社会をめざして、市、市民及び事業者はそれぞれの役割分担を明確にして、ごみの減量化やリサイクルなどに取り組む一方、環境負荷を最小限にとどめるために今までよりも高水準の処理方法の検討を進めます。

都市防災の基本的方針

【災害リスクを踏まえたまちづくりを進めます】



- ハザードマップ^{※10}などを用いて、浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有に努め、災害リスクを踏まえた上で、災害時に安全で速やかな避難や応急復旧活動に対応できるまちづくりを進めます。

【都市の安全性を高める都市基盤の骨格の整備を進めます】



- 災害時に地域の防災拠点とするため、避難場所の確保や備蓄倉庫・防災トイレなどの整備により都市防災機能を有した防災公園の整備を進めます。

【ライフラインの強化をめざします】



- 災害発生時には、被害を最小限に抑えると同時に、被災地の生活基盤の安定を図るため、電気、ガス、上・下水道などのライフラインの機能強化をめざします。

【身近な生活環境の安全性の確保に努めます】



- 日常的な生活空間である公園の確保、狭い道路の改善、防火水槽の確保など防災機能の向上を図るとともに、建物の不燃化を誘導します。

【自然的環境や景観を考慮した治水対策を推進し、みんなが親しめる河川空間をつくります】



- 雨水貯留施設の整備や排水路の改良等を計画的に推進しています。また、自然環境や景観に配慮した水辺環境の整備を進め、関係機関と連携を図り、地域に身近で親しまれる自然豊かな水辺空間の整備に努めます。

都市景観の基本的方針

【良好で質の高い都市景観の形成を進めます】



- 宇治市まちづくり・景観条例^{※11}、景観計画^{※12}やその他既存制度の活用により質の高い都市景観の形成を進めます。

【歴史的景観の保全など地域特性に応じた都市景観を創出していきます】



- 宇治川及び平等院、宇治上神社周辺の重要文化的景観^{※13}に選定された地区を市民の象徴的な都市景観と位置づけるとともに、白川地区や黄檗地区への重要文化的景観の拡大に向けた取組みを推進し、これら歴史・文化の息づくまちなみを保全・継承していきます。

【快適でうるおいのある景観をつくります】



- 豊かなみどりや宇治川の水系などを守り育てるために、親しみのある景観づくりに努めます。

【市民と行政が一体となって都市景観づくりを進めます】



- 一人ひとりが魅力的な景観を守り、創り、育てていくための活動へ積極的に参加できるような場をつくります。

他の公共施設の基本的方針(水道・学校など)

【それぞれの施設を計画的に整備、更新します】



- 将来の水需要に対応した整備に努め、効率的、効果的な水道事業の運営を図ります。
- 学校施設の整備にあたっては、「地域とともにある学校づくり」、「学校を核とした地域づくり」をめざし小中一貫校の整備や老朽化・耐震化対策に努めます。

<六地蔵ゾーン>

- 宇治市の北端に位置し、JR奈良線や京阪宇治線、京都市営地下鉄の鉄道ネットワーク、府道大津宇治線や府道京都宇治線など、本市の主要道路が集中しており、利便性の高い地域です
- 多様な交通ネットワークを活かし、京都市域と一体となった快適でにぎわいや活力ある都市空間が形成されている地域です

利便性の高いにぎわいと活力あるまちづくりを進めます

安心して歩けるまちをめざします

安全かつ快適で文化的なまちをめざします

回遊性できるまちづくりを推進します



<木幡ゾーン>

- 木幡池、松殿山荘や宇治陵など水とみどり豊かで身近な自然に囲まれた地域です
- 許波多神社や茶畑など地域特有の文化、歴史遺産に囲まれた落ち着いたある居住環境が形成されている地域です

住宅地内の通過交通を低減し、安心して歩ける暮らしの道をめざします

災害に強いまちをめざします

自然（木幡池・松殿山荘・宇治陵）や文化・歴史（許波多神社・お茶）を保全します



あなたがお住まいの地域で
重要と考えられるテーマはど
れですか？



あなたがお住まいの地域で
重要と考えられるテーマに
シールを貼ってください



六地蔵ゾーン

利便性の高いにぎわいと活力あるまちづくりを進めます

安心して歩けるまちをめざします

安全かつ快適で文化的なまちをめざします

回遊性できるまちづくりを推進します

その他（記入してください）

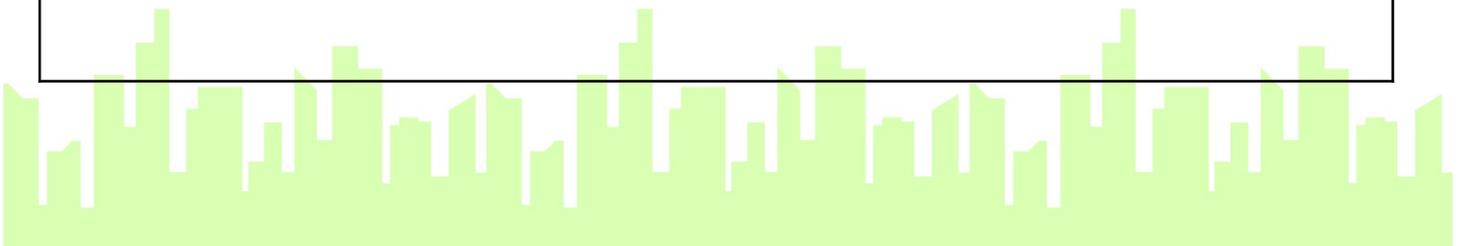
木幡ゾーン

住宅地内の通過交通を低減し、安心して歩ける暮らしの道をめざします

災害に強いまちをめざします

自然（木幡池・松殿山荘・宇治陵）や文化・歴史（許波多神社・お茶）を保全します

その他（記入してください）



まちづくりの成果

図：現行の都市計画マスタープランの地域づくり基本方針図
赤枠：まちづくりの成果

土地利用の方針	交通の方針	自然的環境の保全および景観形成等の方針
<ul style="list-style-type: none"> 快適な生活環境を有する住宅地の形成 自然や文化・歴史的遺産に囲まれた落ち着いた低層住宅地の形成 北の玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出 木幡池周辺の環境に配慮した工業地の形成 茶畑の保全 地域の重要な資源である東部の森林地、緑地の保全 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な鉄道網を活かした交通結節機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> ■■■■■ (複線化) バスなどの公共交通の充実 <ul style="list-style-type: none"> ○○○○○ 地域生活を支える道路網の整備 <ul style="list-style-type: none"> ●●●●● 幹線道路の整備 ——— 主な道路 ----- 計画路線 ○●○●○ 構想路線 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 湿地や山地の保全と生活環境の維持・保全 ● 歴史的遺産と周辺の樹林地の保全 /// 秩序ある商業地の景観形成 山並みスカイラインの景観保全 旧奈良街道のまちなみ景観保全

六地藏地域 地域づくり基本方針図

まちづくり活動の方針

○ 文教施設などを活動拠点としたまちづくり活動の推進
(活動拠点：文教施設・公民館など)



北の玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出

○ JR六地藏駅・駅前広場の整備 (H16.11)

○ JR六地藏駅北周辺地区地区計画の策定地区施設 (整備中)

○ JR六地藏駅・駅舎移転・改良及び駅前広場等再整備 (整備中)



○ 宇治市北の玄関街づくり協議会の設置 (H21.9.25)

自然や文化、歴史的遺産に囲まれた落ち着いた低層住宅地の形成

○ 南御蔵山地区まちづくり計画の策定 (R2.11認定) (南御蔵山地区まちづくり協議)

自然や文化、歴史的遺産に囲まれた落ち着いた低層住宅地の形成

○ 平尾台地区地区計画の策定

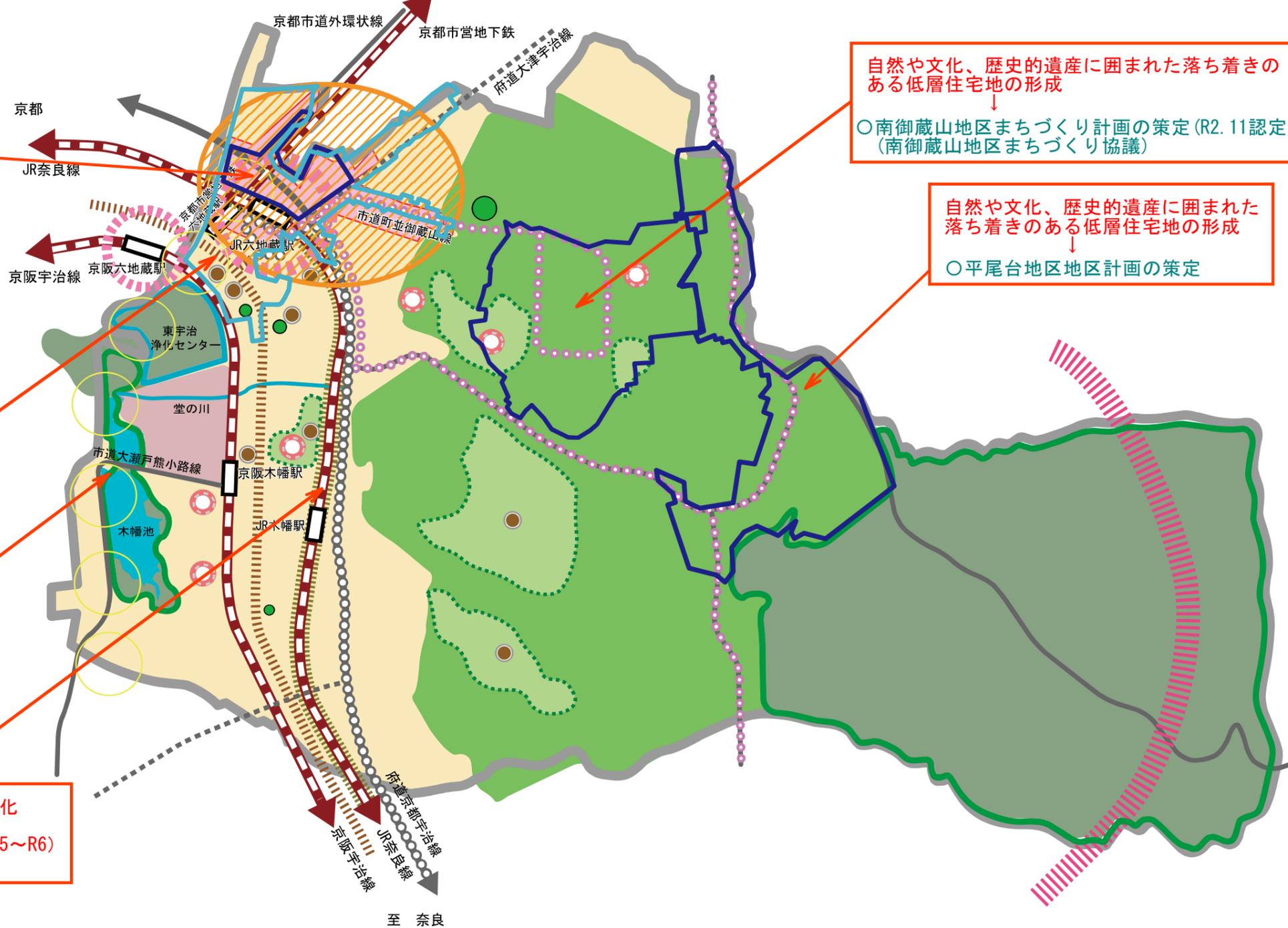
湿地や山地の保全と生活環境の維持・保全

○ 木幡池かわまちづくり計画

多様な鉄道網を活かした交通結節機能の強化

○ JR奈良線高速化・複線化第2期事業 (H25~R6)

○ JR木幡駅バリアフリー化工事 (H29)



宇治市の魅力

六地藏地域

「宇治市第6次総合計画策定のためのアンケート調査（R3.4.17～5.9）」より
宇治市の魅力はなんですか？

「宇治川や山並みなどの自然・景観に恵まれている」、「世界遺産の平等院・宇治上神社をはじめとした歴史や文化に恵まれている」の評価が高くなっています。



市内全域と比較して、「京都・大阪に近く、通勤・通学などが容易である」が評価されています。



①六地蔵駅周辺の変化

JR六地蔵駅周辺では、市民ニーズの変化から大型商業施設やホテルなどが撤退しました。



商業ニーズの低下、住宅ニーズの増大、ホテル撤退による文化交流機能が低下など広域的な交通結節点としてのにぎわいのあり方の検討が必要です。

②交通ネットワーク

多様な交通ネットワークにめぐまれた利便性の高い地域です。



隣接する京都市との連携など、まちづくりの影響を見極めた交通ネットワークの検討が必要です。



③災害リスクの共有

地域には、災害リスクが高い地域もあり、浸水や土砂災害の危険性のある地域について情報共有が必要です。



ハザードマップなどによる災害リスクの共有と、既成市街地における防災能力の向上が必要です。



④将来のまちの姿の共有

一定の地域内の良好な居住環境の整備及び景観を形成することを目的に地区まちづくり協議会の認定を受けた地域があります。



今後も市・市民・事業者がパートナーとして力を結集して将来のまちの姿の共有し、パートナーシップによるまちづくりを進める必要があります。



5-1 土地利用の方針

(1) 住宅地

● 快適な生活環境を有する住宅地の形成

住宅が密集している区域では、地区計画の活用などにより必要な都市基盤を検討するなどして災害に強い安全・安心して居住できる良好な住宅地の形成をめざします。

● 自然や文化・歴史的遺産に囲まれた落ち着いた着きのある低層住宅地の形成

文化・歴史的遺産に囲まれた落ち着いた着きのある低層住宅地の形成をめざします。

特に、宇治陵周辺の住宅地では、歴史的遺産がつくる景観を損なわぬよう、高さや形態、色彩に配慮するとともに、身近なみどりを配した居住環境づくりをめざします。

(2) 商業地

● 北の玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出

拡充

宇治市の連携拠点として、鉄道駅と連携した快適な歩行空間の充実を図るなど、回遊できるまちづくりに努め、市民の商業ニーズの変化を踏まえ地域の特性を生かした魅力ある商業・業務集積を誘導します。

京都市域と一体となった業務、住宅などのまちなみを形成し、本市の北の玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出を検討します。

(3) 工業地

● 木幡池周辺の環境に配慮した工業地の形成

木幡池周辺は工場と住宅地が混在していることから、工業の健全かつ適切な土地利用を維持していくとともに、敷地内の緑化を働きかけるなど周辺との調和に努めます。

(4) 農地

● 茶畑の保全

茶畑を中心とした生産緑地は、六地蔵の風情として市民から愛されていることから、引き続き、保全・活用を図るため、特定生産緑地の指定に努めます。

(5) 森林地、緑地等

● 地域の重要な資源である東部の森林地、緑地の保全

近郊緑地保全区域に指定されている区域内のみどりは、市街化の拡大を制限するために引き続き保全します。

5-2 交通の方針

(1) 公共交通

● 多様な鉄道網をいかした交通結節機能の強化と公共交通の利用促進

拡充

JR、京阪および地下鉄がより一層便利に利用できるよう交通結節機能の充実に努めるとともに、既存公共交通の利用促進を図りながらまちづくりと一体となった交通ネットワークの充実をめざします。

(2) 道路

① 幹線道路

● 幹線道路の渋滞の緩和

拡充

府道京都宇治線や京都市道外環状線の渋滞緩和を図るための道路の構想を深めるとともに、府道京都宇治線及び府道大津宇治線については、沿道に形成されている商業地・住宅地の居住環境へ配慮しながら、まちづくりの影響を見極めその整備・改良を関係機関に働きかけます。

② その他道路

● 地域生活を支える生活道路網の整備

拡充

市道大瀬戸熊小路線をはじめ地域内の日常生活に密着している主要な道路は、歩行空間の確保等安全性を考慮した整備、改良を検討します。

5-3 自然的環境の保全および景観形成等の方針

(1) 自然的環境

● 湿地や山地の保全と生活環境の維持・保全

木幡池や近郊緑地保全区域内の市街化調整区域では、自然的土地利用の保全を基調としながら道路沿いの不法投棄の防止に努めるとともに、地域の美化活動、緑化活動など、良好な生活環境の維持・保全に努めます。

特に、木幡池では、地域の人々も自然とのふれあいを望んでいることから、みどりと交流の拠点として、親水性の高い空間づくりをめざします。

(2) 公園・緑地

● 身近にあるみどりの維持・保全

宇治陵や御蔵山聖天など、昔から残る身近なみどりが残されている地域の豊かなみどりの保全に努めます。

(3) 文化・歴史的遺産

● 歴史的遺産や神社仏閣等と周辺の樹林地の保全

宇治陵や許波多神社など地域固有の歴史的遺産をはじめ、カルメル教会や松殿山荘などはその建物だけでなく、歴史を感じさせる樹林地があることから、これらの保全を働きかけます。

(4) 景観

● 秩序ある商業地の景観形成

業務施設の集積に伴い懸念される建築物の色彩や、看板、広告などが周囲の景観と調和した、北の玄関口にふさわしい秩序だった景観が形成されるようなまちづくりをめざします。

● 山並みスカイラインの景観保全

市街地東部にある天下峰などにより形成された山並みスカイラインは宇治らしさを象徴する自然的景観なので、そのスカイラインを構成する山麓から山頂にかけてのみどりの保全に努めるとともに、山麓の住宅地との調和にも配慮します。

● 旧奈良街道のまちなみ景観保全

旧奈良街道沿いの歴史的遺産は周辺の景観なども含めてその保全に努めるとともに、それらと地域内の各駅周辺や主要施設、緑道などの自然的環境の中を安全に歩ける歩行者空間づくりに努めます。

5-4 都市防災の方針

● 浸水に対する防災機能強化

拡充

近年の局地的豪雨に対応できるよう堂の川をはじめとする河川・水路の改良を計画的に進めます。また、木幡池は遊水池として治水上重要な役割をもっています。今後、関係機関と連携を図り、木幡池の自然環境を保全するとともに、治水上の調整機能の維持・向上を図るなど治水対策に努めます。

● 災害リスクの情報共有

新規

地域内には、水災害リスクの高い地域があります。ハザードマップなどを用いて、市民と浸水や土砂災害の危険性のある地域の情報の共有に努めます。

5-5 まちづくり活動の方針

● 文教施設を活動拠点としたまちづくり活動の推進

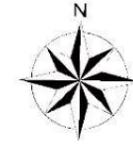
文教施設や公民館などを拠点としたまちづくり活動を推進することで、地域住民間の交流の活性化が考えられることから、それらの活用方策の検討を行いコミュニティの形成をめざします。

● パートナーシップによる将来のまちの姿の共有

新規

南御蔵山地区では緑ゆたかで閑静な住宅地を維持し、住民の快適で安全な生活を守ることをめざしています。また、六地蔵地区並びに木幡御蔵山地域の一部では、都市機能と生活環境の向上を図り、安全かつ快適で文化的なまちづくりを推進することをめざしています。こうした地域の将来のまちの姿を共有し、市はこれらの活動を支援します。

六地蔵地域 地域づくり基本方針図



都市防災の方針

浸水に対する防災機能強化
災害リスクの情報共有

土地利用の方針

- 快適な生活環境を有する住宅地の形成
- 自然や文化・歴史的遺産に囲まれた落ち着いた落ち着きのある低層住宅地の形成
- 北の玄関口にふさわしいにぎわいと活力ある都市空間の創出
- 木幡池周辺の環境に配慮した工業地の形成
- 茶畑の保全
- 地域の重要な資源である東部の森林地、緑地の保全

まちづくり活動の方針

文教施設などを活動拠点としたまちづくり活動の推進

交通の方針

- | | |
|---|---|
| <p>多様な鉄道網を活かした交通結節機能の強化と公共交通の利用促進</p> <p> 交通結節機能の充実
(複線化)</p> <p> 計画路線</p> <p> 構想路線</p> <p> バスなど公共交通の利用促進</p> | <p>地域生活を支える道路網の整備</p> <p> 幹線道路の整備</p> <p> 主な道路</p> <p> 計画路線</p> <p> 構想路線</p> |
|---|---|

自然的環境の保全および景観形成等の方針

- 湿地や山地の保全と生活環境の維持・保全
- 歴史的遺産と周辺の樹林地の保全
- 秩序ある商業地の景観形成
- 山並みスカイラインの景観保全
- 旧奈良街道のまちなみ景観保全